

海外とつながる 和歌山支援プロジェクト



現状・課題

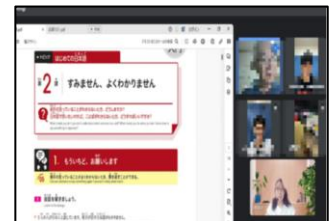
- ①和歌山県に住む外国人は年々増加している中、在住外国人が地域社会において健康かつ安全に自立して生活するためには日本語能力の向上が重要であるが、経済的理由から日本語学習ができない在住外国人がいる。
- ②国際的に活躍する人材創出のため、諸外国の文化を理解し、グローバルな視野を持つ青少年の育成が重要。
- ③和歌山県からの海外移住者の子孫らで構成される在外和歌山県人会の世代交代をサポートするために、本県を知らない若い世代が本県とのつながりを深め、郷土への誇りを高めてもらう機会が必要。

取組

在住外国人支援や、青少年の国際交流の機会を創出

①日本語学習環境整備

- ・18歳以上の県内在住外国人に対し、無償の日本語教室を実施します。
- ・企業内日本語教室の開設を検討する企業へ、無償で日本語教師を派遣します。



②青少年交流

- ・中国、アメリカ、スペイン、トルコとの間で青少年の相互派遣を行い、県内青少年の異文化理解を深める機会を創出します。



③在外和歌山県人会次世代への継承

- ・在外和歌山県人会の代表青少年を和歌山県に招聘し、約10日間、和歌山の文化体験、世界遺産視察、県内教育機関訪問、国際交流団体との交流などのプログラムを実施することで、将来の県人会幹部を育成します。



寄附金の使途

日本語教室運営費用、青少年交流実施経費、
在外和歌山県人会招聘時の県内プログラム実施経費